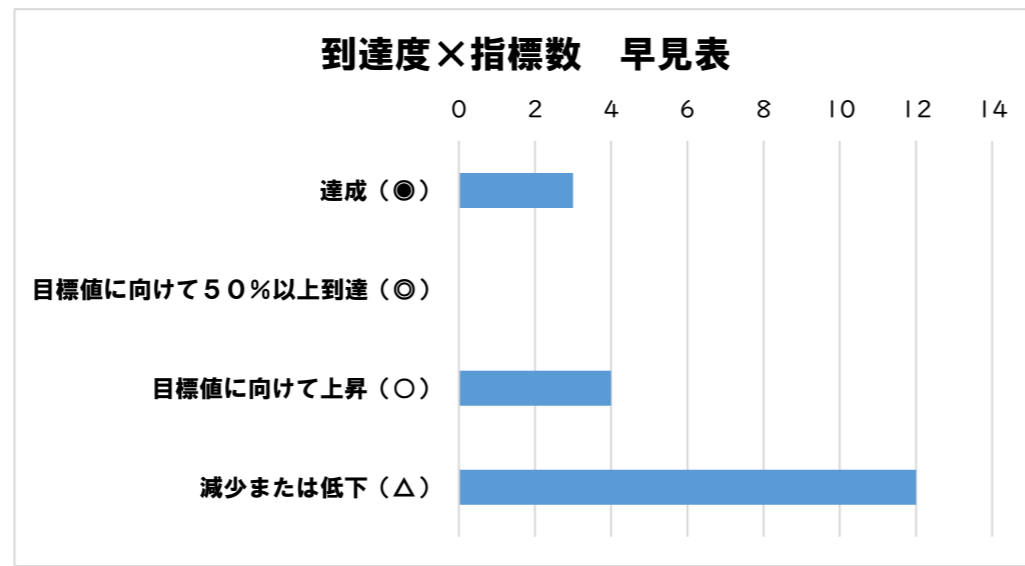


第8次大和市総合計画（後期基本計画）成果を計る主な指標の検証（1/2）

基本目標 7 市民の活力があふれるまち

▼成果を計る主な指標・最終目標値H30年度の達成状況

目標値に達した指標数	／	指標数
3	／	19
目標値に向けて50%以上到達した指標数	／	指標数
3	／	19
目標値に向けて上昇した指標数	／	指標数
7	／	19



指標の項目	当初値 H24	目標値 H30	実績値 H30	到達度	
				率	到達
98 地域に差別意識はないと思う市民の割合	65.8%	75.0%	66.7%	9.8%	○
99 男女が平等であると感じる市民の割合	22.4%	35.0%	21.9%	-4.0%	△
100 審議会、委員会などにおける女性委員の割合	23.8%	50.0%	29.7%	22.5%	○
101 国際交流が行われていると思う市民の割合	19.5%	30.0%	31.3%	112.4%	●
102 外国人を支援するボランティア登録者数	245人	300人	341人	174.5%	●
103 大和市は、買い物がしやすいと思う市民の割合	70.1%	75.0%	71.0%	18.4%	○
104 市内事業者が商店会等に参加している割合	76.3%	77.0%	64.4%	-1700.0%	△
105 法人設立数	309件	320件	267件	-381.8%	△
106 市内事業所従業者数	76,316人	80,000人	76,799人	13.1%	○
107 勤労者サービスセンターの加入者数	3,912人	4,150人	3,235人	-284.5%	△
108 直売所などで販売する農家数	146軒	146軒	146軒	100.0%	●
109 朝霧市、タヤけ市、おさんぽマートの年間開催回数	202回	200回	153回	-49回	△
110 観光イベント・施設の総来場者数	1,497,380人	1,540,000人	1,371,693人	-294.9%	△
111 フィルムコミッションで対応した撮影件数	60件	72件	46件	-116.7%	△
112 地域活動に参加している市民等の割合	25.9%	33.0%	24.2%	-23.9%	△
113 自治会への加入世帯割合	70.7%	73.7%	64.8%	-196.3%	△
114 コミュニティセンターの利用者数	345,114人	366,000人	314,832人	-145.0%	△
115 NPO法人数	67団体	97団体	66団体	-3.3%	△
116 市民活動センター利用登録団体数	220団体	264団体	180団体	-90.9%	△

資料3

～総括～

・19の成果を計る主な指標のうち、目標値に達したものは3、当初の値から上昇したものは7となりましたが、多くの指標が目標値に対する到達度に課題を残しました。

・「99男女が平等であると感じる市民の割合」は、当初の値と比較してほぼ横ばいという結果が表れており、引き続き意識啓発などに取り組んでいく必要があると捉えています。「101国際交流が行われていると思う市民の割合」は、今回の市民意識調査から「多文化共生」のキーワードを加え「あなたのまわりでは、多文化共生や国際交流が行われていると思う」という設問で測定しており、過去と同一の比較とはならないものの、数値は上昇しました。また、これにあわせ、「102外国人を支援するボランティア登録者数」も増加しており、(公財)大和市国際化協会と連携した外国人市民に対する継続的な支援や、多文化共生の推進に取り組んできた成果が表れているものと考えられます。

・「104市内事業者が商店会等に参加している割合」は、商店の減少などにより解散してしまう商店会組織も出てきている背景の中で目標を下回っており、「105法人設立数」は、最終年度の数値は当初の値から減少していますが、目標を達成した年度もあり、引き続き、起業への支援に努めていく必要があります。また、「107勤労者サービスセンターの加入者数」は市内事業所数の減少などの理由から減っている傾向にあるものと捉えています。

・「109朝霧市、タヤけ市、おさんぽマートの年間開催回数」は、平成29年度から週2回程度の開催であったおさんぽマートを週1回へ、「111フィルムコミッションで対応した撮影件数」は、平成28年度から撮影の誘致にあたってシティセールスに結びつく作品に限定するなど、それぞれ方針を変更したことを理由として目標を下回っています。加えて、「116市民活動センター利用登録団体数」は、平成30年度のセンター移転により、従前の登録を一度リセットし、再登録を行ったことから、実績値が減少しています。

・「110観光イベント・施設の総来場者数」については、天候の影響を大きく受け、年度によって人数にばらつきが生じており、最終年度は低い実績値となりましたが、目標を達成している年度もあり、健康都市やまと総合計画ではより適切な指標管理を行うため、指標をイベントと施設、それぞれの来場者数で区分しています。「114コミュニティセンターの利用者数」は平成28年度以降、大規模改修工事で約半年間閉館していた会館があるなどの理由から減少しています。

・「112地域活動に参加している市民等の割合」、「113自治会への加入世帯割合」、「115NPO法人数」が目標を達成しなかった背景の一部には、高齢化という問題もあると捉えています。地域のつながりや市民活動はまちに活力を与える大切な要素であることから、行政が取り組むことのできる役割を見極めながら、今後の支援や環境づくりに努めていく必要があります。

・少子高齢化や人口減少などによって、社会経済全体の規模が縮小することが懸念される中において、まちのにぎわいや地域全体を活性化していくことは重要なテーマであると受け止めています。健康都市やまと総合計画では、年齢・性別・国境などの違いを超えて相互に認めあう社会を形成するとともに、企業活動振興条例などのもと、地域経済の振興やまちのにぎわいの創出を図りながら、地域活動を活性化していくことを通して、引き続き、市民の活力があふれるまちづくりに取り組んでいきます。

(総合計画審議会のコメント)

成果を計る主な指標の達成状況の検証(課題となるものを抜粋)

①104市内事業者が商店会等に参加している割合

(達成状況に関する市の考え方)

・商店の減少や後継者不足の問題等により、解散してしまう商店会組織も出てきており、市内事業者が商店会等に参加している割合は低下している傾向にあります。しかしながら、商店街はまちのにぎわいを生み、安全・安心・防犯などの地域貢献機能を担っていることから、引き続き、大和市商業戦略計画に基づき、地域の活性化に資する商店街団体の取組みを支援していきます。

(総合計画審議会のコメント)

第8次大和市総合計画（後期基本計画）成果を計る主な指標の検証（2/2）

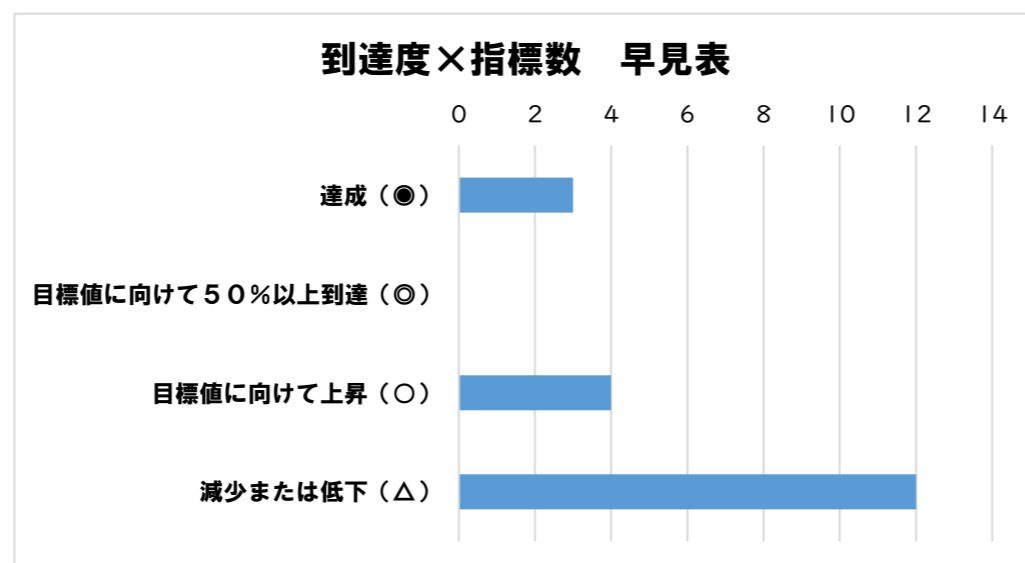
基本目標 7 市民の活力があふれるまち

▼成果を計る主な指標・最終目標値H30年度の達成状況

目標値に達した指標数	/	指標数
3	/	19

目標値に向けて50%以上到達した指標数	/	指標数
3	/	19

目標値に向けて上昇した指標数	/	指標数
7	/	19



指標の項目	当初値 H24	目標値 H30	実績値 H30	到達度	
				率	到達
98 地域に差別意識はないと思う市民の割合	65.8%	75.0%	66.7%	9.8%	○
99 男女が平等であると感じる市民の割合	22.4%	35.0%	21.9%	-4.0%	△
100 審議会、委員会などにおける女性委員の割合	23.8%	50.0%	29.7%	22.5%	○
101 国際交流が行われていると思う市民の割合	19.5%	30.0%	31.3%	112.4%	●
102 外国人を支援するボランティア登録者数	245人	300人	341人	174.5%	●
103 大和市は、買い物がしやすいと思う市民の割合	70.1%	75.0%	71.0%	18.4%	○
104 市内商業者が商店会等に参加している割合	76.3%	77.0%	64.4%	-1700.0%	△
105 法人設立数	309件	320件	267件	-381.8%	△
106 市内事業所従業者数	76,316人	80,000人	76,799人	13.1%	○
107 勤労者サービスセンターの加入者数	3,912人	4,150人	3,235人	-284.5%	△
108 直売所などで販売する農家数	146軒	146軒	146軒	100.0%	●
109 朝霧市、タヤけ市、おさんぽマートの年間開催回数	202回	200回	153回	-49回	△
110 観光イベント・施設の総来場者数	1,497,380人	1,540,000人	1,371,693人	-294.9%	△
111 フィルムコミッションで対応した撮影件数	60件	72件	46件	-116.7%	△
112 地域活動に参加している市民等の割合	25.9%	33.0%	24.2%	-23.9%	△
113 自治会への加入世帯割合	70.7%	73.7%	64.8%	-196.3%	△
114 コミュニティセンターの利用者数	345,114人	366,000人	314,832人	-145.0%	△
115 NPO法人数	67団体	97団体	66団体	-3.3%	△
116 市民活動センター利用登録団体数	220団体	264団体	180団体	-90.9%	△

成果を計る主な指標の達成状況の検証（課題となるものを抜粋）

②¹⁰⁵法人設立数

（達成状況に関する市の考え方）

・「大和市創業支援事業計画」に則り、融資や相談等、起業家に対する支援を展開しており、メニューの充実にも努めている中、ここ数年は法人設立数が横ばいで推移していますが、後期基本計画期間中には目標を達成した年度もあり、平均すると年間約300件程度の法人が設立されています。また、全体の傾向としては、市内事業所数や¹⁰⁶市内事業所従業者数も平成24年の値と比較して一定の数を維持している現状です。平成30年度からは、市民活動拠点ベテルギウス内に起業家支援スペースを設けるなどの取り組みも進めており、引き続き、起業も含めた市内の経済活動の活性化に努めていきます。

（総合計画審議会のコメント）

③¹¹²地域活動に参加している市民等の割合

④¹¹³自治会への加入世帯割合

（達成状況に関する市の考え方）

・地域活動に参加している市民等の割合、自治会への加入世帯割合は、相互に深く関わっている指標であり、これまでも自治会連絡協議会の運営や自治会活動の支援をはじめ、コミュニティセンターの施設改修や各種事業の充実を図ってきましたが、目標値を達成できませんでした。背景には、いまだ本市の人口が微増にある状況の中でも、少子高齢化や共働き世代の増加などに伴い、地域活動などへ費やす労力や時間的負担への抵抗感の影響があると考えられます。一方で、災害時における共助の考え方や支え合いによる福祉の視点など、地域で助け合うことの必要性は高まっており、引き続き、地域活動の基盤である自治会活動への支援や自治会が果たす役割について周知啓発を進めるとともに、利用しやすいコミュニティセンターの環境整備を通じて活動拠点の充実を図るなど、地域間交流の広がりや、防犯防災活動等による安心安全な地域づくりにつながるよう、努めていく必要があります。

（総合計画審議会のコメント）